

# 工科系大学シーズマッチング会inものづくり大学

ものづくり大学 ものづくり研究情報センター

2021年9月21日(火)～30日(木)

YOU TUBE視聴者限定配信

- 参加費 無 料 (視聴後、アンケートの提出が必須となります。)
- 定 員 100名 (先着順に受付します)
- 受 講 録画された講演を視聴頂きます。  
受講申込をされた方へ聴講できるURLをお送りします



産学連携支援センター埼玉では、大学・研究機関が有する先進的な研究・技術シーズと研究開発型企業が連携し、新たな製品・技術を開発する取り組みとしてシーズマッチング会を開催します。

第1回は、産学官連携の取り組みとして、企業との共同研究、受託研究、調査、実験などの研究受託、生産現場の改善支援などを積極的に推進している「ものづくり大学 ものづくり研究情報センター」から技術シーズ等のプレゼンテーションを致します。

ものづくり大学と連携し、貴社の製品・技術開発を推進したい企業の参加をお待ちしております。

講 演	講演1	ものづくり大学の産学連携について
	講演2	インダクトラックによる磁気浮上システムに関する研究
	講演3	ユニバーサルデザインを考慮した自助具製品の設計開発
	講演4	摩擦攪拌による接合及び材料創製
	講演5	塑性加工バーチャル試作の研究
	講演6	誰もが取り組めるトヨタ生産方式の実践

相談会 講師との個別相談会 (後日予約制で実施予定)

問合せ先 公益財団法人 埼玉県産業振興公社  
産学連携支援センター埼玉(産学・知財グループ 産学支援担当:高橋)  
さいたま市中央区上落合2-3-2  
TEL 048-857-3901 FAX 048-857-3921  
E-mail sangaku@saitama-j.or.jp



申込は、下記に記載しメールでお送り頂くか、右のQRコードから申込をお願いします⇒

## 受 講 申 込 書

企業名			
住 所	〒 -		
受講者	氏名		所属・役職
	E-Ma i l		
受講者2	氏名		所属・役職
	E-Ma i l		

NO	ものづくり大学：研究・技術シーズ プレゼンテーション
講演 1	ものづくり大学の産学連携について ものづくり大学 ものづくり研究情報センター
講演 2	<p>インダクトラックによる磁気浮上システムに関する研究 技能工芸学部総合機械学科 教授 ビチャイ サェチャウ</p> <p>超高速輸送・交通システムとして期待されている「ハイパーループ」において、インダクトラック方式による磁気浮上システムへの注目が集まっている。 この研究では、輸送・交通システムに役立つインダクトラック方式の基礎及びその応用研究を行っている。</p> <p>【適用分野・業界 超高速運輸、交通システム、貨物輸送（ロジスティック）】</p>
講演 3	<p>ユニバーサルデザインを考慮した自助具製品の設計開発 技能工芸学部総合機械学科 教授 松本 宏行</p> <p>高齢者及び障害を有する方々にとって日常生活において不便を感じている場合が多く、それらの課題解決が求められている。 この研究では、ユニバーサルデザインとして「ひと」にとって使いやすい製品の設計、コストを配慮した軽量で丈夫な製品の設計・開発の研究を推進している。</p> <p>【適用分野・業界 文房具、家具、福祉機器などの業界】</p>
講演 4	<p>摩擦攪拌による接合及び材料創製 技能工芸学部総合機械学科 准教授 平野 聡</p> <p>自動車部品などに求められる摩擦攪拌接合技術を研究しています。 この研究では、丸棒部材を回転力により摩擦熱を発生させ塑性流動が起こります。 この塑性流動により、異種材料の物質が攪拌され、接合部の変形が小さくなるものです。 溶かすと混ざらない物質も混合でき、新素材を創製できるか可能性があります。</p> <p>【適用分野・業界 鋳造アルミ合金の接合、銅合金の素材及び製品接合】</p>
講演 5	<p>塑性加工バーチャル試作の研究 技能工芸学部総合機械学科 講師 牧山 高大</p> <p>製造業における製品の試作は、産業競争力の向上されることを背景に製造工程の開発期間の短縮が求められている。 この研究では、コンピュータ上で塑性加工のバーチャル試作を行い、成形形状や加工力などのデータからモデル構築をしており基盤産業への実用化を目指している。</p> <p>【適用分野・業界 製造業の塑性加工工程の開発、加工条件適正化などの課題解決】</p>
講演 6	<p>誰もが取り組めるトヨタ生産方式の実践 技能工芸学部総合機械学科 教授 小塚 高史</p> <p>製造業では、少子高齢化や、スキルを持った熟練者の技術継承が課題となっており、また製造現場での改善活動と人材育成は、その重要性が高いと考えている。この研究では、トヨタ生産方式をベースに、ムダの見える化、課題の抽出法などを検討し、大企業だけではなく、特に中小企業における改善活動の進め方、生産性向上の研究に取り組んでいる。</p> <p>【適用分野・業界 あらゆる業種の生産現場、製造業の体質強化と人材育成】</p>

講演の研究・技術シーズで先生とのマッチング希望する方は、項目に記入ください。

面談を希望する講演の番号に(○)をつけてください。  
講演1( ) 講演2( ) 講演3( ) 講演4( ) 講演5( ) 講演6 ( )  
相談したい内容があれば記載をお願いします。  
・  
・